

アコヤガイモニタリング調査結果

(調査日：令和4年6月24日)

愛媛県農林水産研究所水産研究センター

1 調査結果の概要

- 宇和海の全海域で、真珠層の褐変個体が確認された。
- 栄養の蓄積状態を示す貝柱のグリコーゲン含量は、漁場によってばらつきがあるものの、全地区で健康の目安となる3.0%を上回っており(平均値：6.5%)、良好な状態であった。
- 貝殻異常については、一部の貝に、昨年中の感染で回復時に形成されたと考えられる段がみられたが、貝肉の萎縮は確認されなかった。
- 貝柱の赤変個体は確認されず、赤変度合を示すa値の平均値は低かった。
- 水温が平年より高めに転じ、貝の状態が悪化する可能性が高まっているので、貝にダメージやストレスを与えないよう、管理には十分注意してください。

2 調査結果一覧

() 内は昨年同月の値

漁場 ^{*1}	貝の種類 (R3産)	グリコーゲン含量 平均値 (%)	a 値 平均値	赤変個体 (個)	褐変個体 出現率
北部	日中交雑貝 ^{*2}	3.3(3.3)	-0.6(-1.4)	0	90%
中部①	日中交雑貝	12.4(4.7)	-1.1(-0.6)	0	15%
中部②	日中交雑貝	7.5(5.9)	-1.5(-0.1)	0	90%
南部	日本貝	4.1(2.7)	-1.0(0.3)	0	40%
南部	日中交雑貝	5.1(2.5)	-0.7(0.5)	0	50%
平均値		6.5(3.8)	-1.0(-0.3)		

*1 漁場： 北部：三浦半島以北 中部：由良半島から三浦半島 南部：由良半島以南

*2 日中交雑貝：日本貝と中国貝の交雑貝

3 調査方法

- 4月から11月まで月1回(概ね第3週)、各漁場・種類毎に20個を調査。
- サンプルは、愛媛県漁業協同組合本所宇和島事業部が、調査日2日前をめどに各漁場で採取して持ち込んだアコヤガイ母貝(2年貝)。

4 調査項目および判断指標

- グリコーゲン含量(%): アコヤガイの栄養蓄積状態を示す指標で、数値が高いほど良好。
- a 値: 閉殻筋(貝柱)の赤色度を示す指標で、数値が高いほど赤みが強い。
赤みを帯びた黄色で3、明らかな赤色で5以上。